

EGGPLANT

エッグプラント
那須ファミリー
ホームスクール
通信 No.11
2005.6.1



アメリカの先例

十年前、アメリカのサンフランシスコに行きました。そのとき、訪問したクリスチャンホームでは、「ホームスクール」を行っていました。子どもは三人で小学生でした。話には聞いていたホームスクーラーでしたが、「アメリカだから・・・」という気持ちがあり、大した関心もなかったので詳しい情報を得ようとも思いませんでした。(まさか十年後に我が家でやっていたようとは・・・)

アメリカでは一九八十年代にホームスクールが急激に増えました。しかし、最初は多くの困難にぶつかりました。多くのホームスクールを始めた保護者が訴えられたのです。児童虐待と責められ、ある人は投獄までされました。法に則るといふことを重んじるアメリカならではのことで、変に感心させられませんでした。日本では変な目で見られ、精神的圧力をかけられることは多くても、法が持ち出されることは少ないと思います。そのようなアメリカでの訴訟は、ホームスクーラーたちが次々に勝訴していききました。今、チャーチスクール(教会学校)は、アメリカのどの町でも数箇所あるのが、当たり前です。ホームスクーリングにいたっては、聖書に立つ教会では、約四十〜六十%の子供たちが、ホームスクー

リングしているところまで、急成長しているようです。多くの教科書や教材が作られ、インターネット、衛星放送を使う授業も整備されています。現在ではホームスクールの法的に保護し、推進していくこうとするHSLDA(ホームスクーリング法律擁護協会)があります。(この日本版は昨年結成)

チア・につぼんでは、教材の整備・充実のために出版活動を活発に展開しています。その大会が先日行われました。その際、アメリカから招待されたのが、マイク・ファリス弁護士です。(写真左側)彼は、ホームスクール関係の訴訟に深く関わり、多くの裁判を勝訴に導いた弁護士です。ファリス夫人も共に来られ、十人の子どもをホームスクールで育てた体験を分科会で語ってくれました。



人はパンのみによって生きるのではない

このことばをどこかで聞かれたことがあるでしょう。これは二千年前イエスキリストが言われたこと

ばですが、正確に言えば、イエスが旧約聖書のことばを引用したものです。そして多くの人は、食物だけでなく、趣味、生きがい、愛、また夢を持たなければ生き生きできないという意味で使うことが多いですが、本来は次の言葉が続いています。「・・・神の口から出る一つ一つのことばによって生きる。」すなわち、人間は、造り主なる神のことばを指針とすることで、最高の航路を見出すことができるのです。聖書はよく「人生の羅針盤」とか「人生の灯台」と例えられます。一見、何の道もないように見える海で安全に航海するためには、それらは必要不可欠です。この揺れ動く世界を渡り歩くための唯一の指針をクリスチャンたちは二千年間、神のことばである聖書に見出してきました。

これは教育の分野にも言えることです。もともと、幼児教育や義務教育、さらに子供を教育するということと自体「聖書発想」がもたらしたものです。確かに全く教育が施されていない状況では、「教育」はとても重んじられるべきです。実際に発展途上国において教育プログラムが進められています。しかし、先進国において、最新機器を用いて高度な教育が行われているにも関わらず多くの問題を抱えているのはなぜでしょうか。ある程度まで教育が普及すると「教育」そのものが人間を幸せにするのではないということを感じさせられるのです。「何を次世代に語り継ぎ、どのように育んでいくか」という内容が重要なのです。ホームスクールを進める親たちは、そういうことを聖書から明確に受け止め、自分たちの手でそれを教えていきたいと願っているのです。

「じんな」としました！ 行事報告

五月

三～五日 バイブルセミナー（兵庫県三木市）

七日 いちご摘み（R）

十一日 M 十三歳誕生日

二十～二十一日 チア・コンベンション

二十二日 空手春季昇級審査

二十八日 古市のおじいちゃん誕生日会

日曜学校遠足（鶴見緑地）

Mの読書コーナー

「指輪物語」

J・R・R・トールキン著

世界を滅ぼす魔法の指輪を捨てるという使命をもったフロド達旅の仲間はおオークの襲撃により離ればなれになってしまう。

第二部「二つの塔」：フロドとサムの二人はかつての指輪所持者であったゴクリ（映画ではゴラム）と出会い案内役として連れて行きひたすらモルドールへ向かう。だがゴラムの畏にはまり：

一方、アラゴン達は捕まったメリーとピピンを追いローハンへと足を運ぶ。途中死んだはずのガンダルフと再会。サ

ウロンの手先サルマンにあやつられていたセオデン王を助けてサルマンがはなつ大軍と戦うためヘルム峡谷へ：

新たな登場人物などがでてきて目

が離せません。ぜひ読んでください。

（次号では第三部を紹介します。）



バイブルセミナーでMくん

ソフトボールの打席に。結果は？

二〇〇五 チア・コンベンション

H

一番心に残ったことは、ホームスクーラーのお友達やチルドレン・ミニストリーの先生たちと遊んだことです。

それからIさんの「なぜ、君たちの親はチャーチ&ホームスクーリングを選んだのか」というユースのセミナーに参加しました。我が家がどうして去年からホームスクーリングをするようになったかが良く分かりました。

中高生のセミナーだったけど十一歳の私にも理解できました。このようなユースのセミナーはとても良かったです。

バイブルセミナー

E

五月三日から五日までバイブルセミナーに行きました。ぼくののったバスの中からはいろいろなところが見えました。一〇一びきわんちゃんのビデオも見ました。Rちゃんがバスでよってしまつて、ふくをきがえしました。とまるところには、こいがある池がありました。日曜学校のセミナーの一回目はアイロンビーズを作りました。ビーズは四こ作りました。

日曜学校がおわつてレストランに行きました。しよくじがおわつてフリータイムでたんけんに行きました。かいだんやくものすとかがありました。

次の日、日曜学校で公えんに行きました。たのしかったです。フリータイムのとき、ともだちのおとうさんが草ぶえを作ってくれました。けれどぼくはうまくならずことができなかつたのでくやしかったです。それからいっぱいれんしゅうしていたので少しなるようになりました。三回目の日曜学校では近くのところでゲームをしました。ジュースのかんをひもでつりあげたりしました。むずかしかつたけどたのしかったです。

そして、つぎのときは母の日のプレゼントのカーネーションを作りました。だけどあまりきれいなカーネーションが作れなくてぎんねんでした。いろいろなことができてたのしかったです。

編集後記

年に一回のチアにつぼん（チャーチ&ホームスクールを進める会）の大会に参加して、ホームスクーラーたちと交流しました。詳細は<http://www.geocities.jp/knasu3/>